



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	210,891	13.0	7,955	△5.0	8,449	△5.5	4,462	△1.5
27年3月期第3四半期	186,658	11.2	8,374	12.1	8,940	9.4	4,528	△1.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,464百万円(△9.4%) 27年3月期第3四半期 4,926百万円(△0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	90.33	—
27年3月期第3四半期	105.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	201,066	77,437	38.3
27年3月期	202,562	75,864	37.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 76,944百万円 27年3月期 75,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 48円00銭 記念配当 7円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	9.8	14,800	8.8	15,100	8.5	8,300	11.1	168.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	49,640,700株	27年3月期	49,640,700株
28年3月期3Q	235,568株	27年3月期	235,515株
28年3月期3Q	49,405,169株	27年3月期3Q	42,845,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用環境の改善傾向が続く一方で、米国の利上げや原油価格の低迷、中国をはじめとする新興国経済や株式市場の減速懸念等、不透明感が増しております。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬改定及び消費税増税の影響が依然として続くと共に、来年度の診療報酬改定への対応等、様々な課題に直面しております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件が期初計画通り計上されたとともに、メディカルサブライ事業におけるM&Aや受託件数の増加により増収となりました。また、調剤薬局事業は期初計画を上回って推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は210,891百万円（前年同四半期連結累計期間比13.0%増）、営業利益は7,955百万円（前年同四半期連結累計期間比5.0%減）、経常利益は8,449百万円（前年同四半期連結累計期間比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,462百万円（前年同四半期連結累計期間比1.5%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。また、第1四半期連結会計期間より、従来、「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントは、「ライフケア事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、建築費の高騰等の影響により介護系施設を中心に新規開業が減少傾向にあり、一部メーカー製品の受注・販売が低迷いたしました。一方で、プロジェクト案件につきましては概ね計画通り進捗するとともに、新規受注も拡大いたしました。

この結果、売上高は63,297百万円（前年同四半期連結累計期間比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）は4,867百万円（前年同四半期連結累計期間比12.7%減）となりました。

②メディカルサブライ事業

メディカルサブライ事業におきましては、昨年M&Aを実施した循環器系を中心とした会社の業績が寄与したこと、新規のSPD業務受託施設が増えたこと等から増収となりました。

この結果、売上高は113,227百万円（前年同四半期連結累計期間比20.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,524百万円（前年同四半期連結累計期間比0.2%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居者数及び利用者数が継続して積み上がったものの、計画達成には至らず、介護報酬の減額の影響も受けました。

この結果、売上高は15,009百万円（前年同四半期連結累計期間比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は159百万円（前年同四半期連結累計期間比18.5%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の開設及び在宅対応の強化を進めるとともに、一部薬局の買収や経営資源の効率的配分等により好調に推移いたしました。

この結果、売上高は17,992百万円（前年同四半期連結累計期間比8.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,709百万円（前年同四半期連結累計期間比26.3%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業は計画を若干下回り推移した一方、理化学機器の販売については計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は1,364百万円（前年同四半期連結累計期間比82.8%増）、セグメント利益（営業利益）は69百万円（前年同四半期連結累計期間比26.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は201,066百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,496百万円減少いたしました。その主な要因は、土地が3,828百万円、長期貸付金が2,980百万円、のれんが1,459百万円、商品及び製品が1,368百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が12,828百万円減少したこと等によるものであります。

負債は123,629百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,069百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が4,842百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が6,182百万円、未払法人税等が2,246百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は77,437百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,573百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が2,717百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が4,462百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は38.3%（前連結会計年度末比1.1ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成27年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は2百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は38百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が29百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,676	35,214
受取手形及び売掛金	72,636	59,807
電子記録債権	1,373	1,826
リース投資資産	4,365	4,220
商品及び製品	8,292	9,660
仕掛品	1,902	3,058
原材料及び貯蔵品	755	1,139
その他	8,151	8,617
貸倒引当金	△101	△89
流動資産合計	136,051	123,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,518	13,615
土地	8,595	12,423
建設仮勘定	750	1,727
賃貸不動産(純額)	12,706	12,475
その他(純額)	2,564	2,617
有形固定資産合計	38,135	42,859
無形固定資産		
のれん	10,173	11,633
その他	1,049	1,002
無形固定資産合計	11,223	12,636
投資その他の資産		
長期貸付金	7,195	10,175
その他	12,354	14,358
貸倒引当金	△2,478	△2,474
投資その他の資産合計	17,071	22,059
固定資産合計	66,430	77,554
繰延資産		
株式交付費	80	56
繰延資産合計	80	56
資産合計	202,562	201,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,707	60,525
電子記録債務	4,614	9,456
短期借入金	1,590	1,665
未払法人税等	3,316	1,069
賞与引当金	1,464	727
その他	11,466	11,849
流動負債合計	89,160	85,293
固定負債		
社債	2,060	2,050
長期借入金	29,569	30,166
退職給付に係る負債	1,914	1,960
資産除去債務	288	324
その他	3,705	3,833
固定負債合計	37,538	38,335
負債合計	126,698	123,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,385	20,356
利益剰余金	38,236	39,981
自己株式	△447	△448
株主資本合計	73,727	75,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,326	1,290
為替換算調整勘定	200	170
退職給付に係る調整累計額	54	39
その他の包括利益累計額合計	1,580	1,501
非支配株主持分	555	492
純資産合計	75,864	77,437
負債純資産合計	202,562	201,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	186,658	210,891
売上原価	162,345	186,239
売上総利益	24,313	24,651
販売費及び一般管理費	15,938	16,696
営業利益	8,374	7,955
営業外収益		
受取利息	242	233
受取配当金	51	63
負ののれん償却額	406	180
持分法による投資利益	—	11
貸倒引当金戻入額	16	49
その他	205	305
営業外収益合計	922	844
営業外費用		
支払利息	272	213
持分法による投資損失	14	—
その他	69	137
営業外費用合計	356	351
経常利益	8,940	8,449
特別利益		
固定資産売却益	3	56
補助金収入	59	4
その他	0	0
特別利益合計	63	61
特別損失		
固定資産売却損	7	3
固定資産除却損	26	21
投資有価証券評価損	330	358
その他	12	62
特別損失合計	376	445
税金等調整前四半期純利益	8,628	8,064
法人税、住民税及び事業税	3,425	3,046
法人税等調整額	610	474
法人税等合計	4,035	3,520
四半期純利益	4,592	4,543
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	81
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,528	4,462

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,592	4,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267	△35
為替換算調整勘定	93	△29
退職給付に係る調整額	△26	△14
その他の包括利益合計	334	△79
四半期包括利益	4,926	4,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,844	4,382
非支配株主に係る四半期包括利益	81	81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	60,669	93,730	14,889	16,622	185,912	746	186,658	—	186,658
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,179	1,391	31	—	2,602	16	2,618	△2,618	—
計	61,849	95,121	14,921	16,622	188,514	762	189,277	△2,618	186,658
セグメント利益	5,571	1,522	134	1,352	8,581	94	8,676	△301	8,374

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△301百万円には、セグメント間取引消去69百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	63,297	113,227	15,009	17,992	209,526	1,364	210,891	—	210,891
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	934	660	42	82	1,719	21	1,741	△1,741	—
計	64,231	113,888	15,051	18,074	211,246	1,385	212,632	△1,741	210,891
セグメント利益	4,867	1,524	159	1,709	8,260	69	8,330	△374	7,955

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△374百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△403百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来、「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントは、「ライフケア事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、当第3四半期連結累計期間と同様に「ライフケア事業」と記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社西野医科器械株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,495百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。